

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道193号	事業区分：一般国道	事業主体：徳島県					
起終点：自：徳島県那賀郡那賀町五倍木 至：徳島県那賀郡那賀町符殿		延長：2.0 km					
<b>事業概要</b> 一般国道193号は、香川県高松市から徳島県海南町に至る延長162 kmの幹線道路であり、徳島県中央部を南北に結び沿線地域の生命線道路である。五倍木拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長2.0 kmの2車線現道拡幅事業である。							
H7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 7年度用地着手	H 7年度工事着手				
全体事業費	約56億円	事業進捗率	86%	供用済延長	1.2 km		
計画交通量	1,500台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業/事業全体)	8 / 64億円	総便益 (残事業/事業全体)	29 / 74億円	基準年 平成16年
	(残事業)	3.7	事業費：7/62億円 維持管理費：1/3億円	走行時間短縮便益：29/73億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円			
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.27 (交通量+10%)    B/C=0.87 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.07 (事業費+10%)    B/C=1.23 (事業費-10%)						
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。） ・災害への備え（地域防災計画において緊急輸送路として位置づけられている。） 他5項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	一般国道193号は、台風や南海地震等の自然災害に対して緊急輸送路として重要な役割を期待されており、丹生谷地区の関係町村長から早期整備を求める要望（平成16年11月11日）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成16年発生 of 台風10号災害で隣接区間が山腹崩壊により寸断され、多数の集落が孤立した。また、復旧・復興においては緊急車両の通行や救援資材の輸送など緊急輸送路として大きな役割を果たしており、今後発生が予想される南海地震など大規模災害に備えるためにも、本路線の重要性は高まっている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに1.2 kmを部分供用しており、平成17年度に0.5 kmの部分供用を予定している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	起点側未供用区間の工事を進め、平成19年度全線完成を図る予定である。						
施設の構造や工法の変更等	逆T式擁壁を軽量盛土工法に変更して工期の短縮を図った。						
対応方針	継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。